

# 石原委員提出資料

第2回デジタル・サイバーセキュリティWG  
2026年4月6日

# デジタル・サイバーセキュリティ領域における重点投資領域について

2026年4月6日 エクサウィザーズ 石原直子

- ✓ **製品・技術への投資は重要だが、それらの投資を確実にリターン(経済成長)につなげるためにも、デジタル人材基盤の構築ならびに投資についても明記すべき**
  - AI、ロボティクス、セキュリティ領域のための博士レベル人材および、それをビジネスに展開できる人材を増やす
  - AIを活用したビジネスの革新、新価値創出を牽引するには、各ビジネス領域の勝ち筋、儲けの構造を熟知した人がAIをどう活用するのか描くことが重要。「AI×●●」人材を増やす
- ✓ **民間に対しては、AI時代にふさわしい「組織構造改革」や「AI人的資本経営」の推進を強く要請すべき**
  - AI人材が生まれても限定的な価値創出になるのは、器である組織の構造、経営陣/管理職の考え方や評価の視座、失敗が損になる人事制度などがアップデートされていないから。価値創出の源泉は「人とAI」を考え、人に投資すると同時にAIに投資する経営を要請すべし
  - この時「ジョブ型」かどうかはほとんど関係ないを考える。ジョブ型の議論とはすみわけるべし
- ✓ **地域・地方および中小企業のデジタル変革への投資を検討すべき**
  - 地方経済や中小企業経営においては、AIによる時代の変化の実感がいまだにない状態。人手不足の時代の地方、中小企業こそ、AI・ロボ等を活用したデジタル変革は死活問題。AI等を利用した変革を実行しようとする地方、中小企業を支援する施策が必要
  - ここでも変革を主導する人材の不在が重要課題。地方でのAI実装を手掛けられる人材バンク等を構想すべし。投資リターンを増やすための「共同購入」のような仕組みは考えられないか

# 【参考①】デジタルサイバーセキュリティ全体像(前回WG資料より)

## 我が国産業の国際競争力強化と社会課題解決による「強い経済」の実現



# 【参考②】企業におけるこれからの変化

## 現在起きていること

人間に最適化された  
業務プロセスに  
「部分的に」AIを投入

## AI新時代に起きること

AIに最適化された  
業務プロセスをAI自体が  
「新規に」設計  
(人はAIにできない部分だけに介入)



この変化が起きることを、認めなくてはならない

# AI人的資本

従来の「人的資本」は、これからの知的労働の担い手をカバーしていない

